

Kanon

神奈川県
合唱連盟
機関情報誌

2018 年度
春号
No. 101

カノン

発行:2018.4.10

神奈川県合唱連盟 創立60周年記念演奏会

暖かな陽気に恵まれた2月11日、神奈川県合唱連盟創立60周年記念演奏会が県立音楽堂で開催されました。7団体の招待合唱団の演奏を聴き、その間に参加者全員による合唱を挟んでいくという進行で、参加された方々は全員が歌い手でもあり聴き手でもあるという、合唱人にとっては大変嬉しい形の催しでした。招待合唱団は総勢250名、参加者は453名、会場は熱気あふれる歌声に包まれました。

松村理事長は赤いちゃんちゃんこ（前身頃の赤い素敵なベスト）着用で登場、自ら還暦のお祝いを体現されていて、一気に祝賀ムードが高まりました。

招待演奏は、創立60年以上の横浜紅葉丘合唱団、小学校や地域のジュニア合唱団の合同合唱団、コンクール全国大会出場の清泉女学院中学校音楽部、日本女子大学附属高等学校コーラスクラブ、合唱団やえ山組、La Pura Fuente、マルベリー・チェンバークワイアの皆さん。美しく多彩な演奏が繰り広げられました。

合同合唱は、創立50周年記念に信長貴富先生に

作曲を委嘱した連盟歌「朝の光に」、お馴染みの「ハレルヤ・コーラス」「アヴェ・ヴェルム・コルプス」「大地讃頌」、そしてこれも信長先生の名曲「くちびるに歌を」。顧問として県連を支えて下さっている、

吉田孝古鷹、伊集院俊光、桑原妙子、田中登志生、平井 保の5人の先生方の指揮で歌われました。

また、県連の活動にご理解とご協力をいただいている県立音楽堂に感謝状が贈られました。

ジュニアからシニアまでの幅広い年代層、女声や男声、混声、様々なジャンルの合唱団が一堂に会し、大勢の初めて会う人たちとも心を合わせて素晴らしい演奏が繰り広げられました。創立60周年を祝い、豊かな未来を願うに相応しい記念として、参加された皆さんにも、準備や運営を務められた方々にも深く心に刻まれた催しとなりました。

(カノン編集部)



松村理事長



ジュニア合同演奏



横浜紅葉丘合唱団

顧問の先生方の思い出話

♪吉田 孝古麿 先生

私の理事長時代の神奈川県はジュニアコーラスが盛んで、全日本合唱連盟が視察に来たほど。その後ジュニアコーラスフェスティバルが始まりました。

♪平井 保 先生

私が副理事長の時に事務所が現在の所に移転しました。東日本大震災の時は、事務所の荷物が散乱する中で

総会のお知らせの郵送作業にとっても苦勞しました。

♪伊集院 俊光 先生

神奈川は合唱団体数が大変多いです。合唱はいいですね。熱心に取り組みましょう。

♪桑原 妙子 先生

小学1年生の時、防空壕の中で三家族で「流浪の民」を歌って勇気が出ました。過勞でフェリスを辞めたのに、音楽堂

で倒れた時に救急車を呼んでくれた吉田孝古麿先生に頼まれて断れず、県連の仕事を引き受けたら以前より忙しくなっていました。

♪田中 登志生 先生

東日本大震災直後の総会のお知らせを郵送する作業に苦勞しました。音楽堂では毎年大人がメサイアを演奏していましたが、高校生も加わって歌うようになりました。

(出演順)

松村理事長独占インタビュー！

Q：今日はお疲れ様でした。盛りだくさんで楽しく、しかもスマートな演出、この企画は先生ご自身のアイデアでしょうか？

A：大筋の所はそうですね。後は皆さんに肉付けしていただき、漕ぎ着けました。単なる祝賀セレモニーにはしたくなかったの、イメージコンセプトを「連盟会員が主役」「世代とジャンルを超えて」に設定して構成しました。

Q：幅広い年代とジャンルの合唱が集まって、お祝いにふさわしい演奏会でした。神奈川県は全国的にみて合唱人口の年代のバランスなどはどうなのでしょう？

A：全国的にも少子高齢化がすすんでいます。神奈川も同じ状況です。ジュニア世代が縮小化していることが深刻です。

Q：先生が神奈川県連に関わりを持たれたのはいつごろから、どんなきっかけでしょうか？

A：伊集院先生が理事長をされているときに、そろそろお手伝いしなさいとのご命令で…笑

Q：それから創立60周年を迎えるまで、どんな変化があったとお感じですか？

A：その後、桑原妙子理事長、田中登志生理事長と素晴らしい県連の運営が成されて来ました。私の期に入り皆様に支えられて6年が経ちましたが、大きな変化としては、残念で

すが会員数の減少が上げられます。一方で、中高生達の合唱が近年活気を持ってきたことは特筆すべき点です。未来に繋がってくれると良いですね。

Q：先生が理事長を務められた6年間で最も印象的だったことは何でしょうか？

A：何と言っても昨年の全日本ワークショップです。県連の総力を結集して、全国に誇れるワークショップが実行できた事です。素晴らしい事務局、そしてスタッフの献身的なご尽力、更に全連盟会員の合唱への深い愛情と情熱が結実した3日間でした。

そして、今日の60周年記念演奏会にも、大変に感動いたしました。「合唱っていいなあ・・・」「みんなで声を合わせて歌うってなんて素敵なんだろう・・・」「何百人もの人が心をつにしている瞬間だ・・・」袖で何度も涙ぐんでいました。

参加された全ての皆様に、そして準備に関わった全ての方々に心より感謝申し上げます。

Q：神奈川県合唱連盟が全国に誇れることをあげるとすれば？

A：完璧な事務局。そして連盟全体のチームワークです！

Q：還暦を迎えた県連のこれからに望むことは？

- A：1. 会員数の増加。
2. 「世代を超えて響き合う合唱」の発展的継続です。



顧問の先生方



日本女子大学附属高等学校
コーラスクラブ



清泉女学院中学校音楽部



松村理事長と
桑原先生

県立音楽堂館長 永井 健一様 に伺いました

創立60周年おめでとうございます。昨年8月に赴任し半年になります。

県民ホールに勤めていた時代から合唱のイベントには関わり、当時の関屋 晋先生や事務局長の高橋賢次さんにもお世話になりました。音楽堂としてこれから合唱連盟と連携していこうというときに改修工事に入ることになって残念ですが、今回は建築物としての保存とホールの響きを残すことが目的になっています。来年改修工事の終わった音楽堂でまたぜひ神奈川県合唱連盟の皆さまと共に行事を盛り立てていきたいと思っています。自身も大学時代から合唱に携わり、歌の神様に導かれたようにこの道で仕事をするようになり、神様からは合唱連盟をサポートしなさいと言われていと感じています。

神奈川芸術文化財団 事務局次長 伊藤 由貴子様
(前県立音楽堂館長) 演奏会後の懇親会でのお話

本日は神奈川県合唱連盟創立60周年おめでとうございます。

今日は全体合唱に参加させていただきました。高校・大学と合唱はしていましたが、以後自らが歌うということはなく、久しぶりの経験でした。昨日のリハーサルにも参加しましたが、ほかの4曲は歌ったことがあったものの、初めて歌った「くちびるに歌を」は（いい曲ですが）難しくて、今朝もピアノで音の確認をしてから参りました。歌うことは、それはそれは楽しくてテンションが上がりました。合唱が、頭・こころ・身体をフルに使う作業で、健康に寄与すると実感しました。合唱活動を通して人と人とのつながりも生まれます。まさに素晴らしい社会貢献であり、平和につながるものだと思います。

参加された皆さんに伺ってみました

● 赤いベストの理事長先生が素敵。会場の座席の整理などマメに働いていたかと思えば、滑らかな司会進行でも大活躍でした。（40代女性）

● 松村先生の軽妙な司会が楽しかった。タイムキープもバッチリで時間ピッタリに終わりびっくり。（50代女性）

● 合同合唱の間に招待演奏が入り、舞台の入れ替わりも超スムーズ。全く飽きることなくお尻も痛くならず、本当にうまい演出でした。（60代女性）

● 他の合唱団の方たちと大勢で歌えて楽しかった。（女子高生）

● 合同合唱の曲は歌い慣れた曲ばかりでしたが、経験豊かな先生方にご指導いただけて新鮮でした。（50代女性）

● 違った指揮者の指揮で歌ってみたかったのでよい経験ができた。（60代男性）

● 曲の合間に合唱と共に歩まれた先生方のお話がきけてよかった。先生方の仲の良さも垣間見えた感じで楽しかった。（50代女性）

● 「くちびるに歌を」は、混声、女声、男声と違う編曲の音が重なり感動的でした。（50代男性）

● 桑原先生のお話が印象的でした。ソ連軍がエストニアに侵攻しようとした時、エストニアは武器を取らず、大勢の市民の合唱で抵抗し、進行を躊躇させたそうですが、「くちびるに歌を」にはこのような話を思い起こさせる力があるということで、歌いながらじんとくるものがありました。（70代男性）

● 桑原先生のお話～防空壕の中で「流浪の民」を歌って勇気が出たこと、同感です。3.11の大震災の時に、がれきの下で歌を歌って励まし合ったという話を思い出しました。（60代女性）

● 少年少女の真剣で純粋な歌声に心を打たれました。（60代男性）

● コンクール全国大会の常連の団はさすがにレベルが高くて素晴らしかった。息を豊かに使っていたり、少人数でも迫力があったり、いい演奏がたくさん聴けてよかった。（40代女性）

● 前日の練習もあったし、とてもお徳感がありました。（50代女性）

● 歌いたかった曲ばかり、改めていい曲だと感じました。（50代男性）

● いい企画でとても楽しかった。（40代女性）



会場の歌声



マルベリー・チェンバークワイア



合唱団 やえ山組



懇親会にて

第20回 かながわヴォーカルアンサンブルコンテスト

3月4日(日)、神奈川県立音楽堂で「第20回かながわヴォーカルアンサンブルコンテスト(以下、アンコン)」が行われました。当日は、春を感じさせる暖かな一日でした。最近はアンコンの人气が高く、今回は60団体と最多の申込みがあり、昨年に続き抽選会で出演団体を決めることとなりました。厳正なる抽選の結果、県内35団体、県外8団体が選出されました。

アンコンの審査方法は各部門(混声/女声/ジュニア/男声/シニア)の部門別審査と、部門別審査の金賞受賞団体もしくは受賞団体中の最高得点団体による総合審査からなります。また、演奏曲は無伴奏に限定しています。これは神奈川ならではの方式です。

今年は、金賞受賞が混声合唱部門:2団体、女声合唱部門:4団体、ジュニア合唱部門:2団体、男声合唱部門は金賞受賞団体が無かったため銀賞受賞団体の最高得点1団体の計9団体が総合審査に進出しました。

総合審査の結果、清泉女学院高等学校音楽部が総合第1位となりました。また、審査員特別賞には、県立湘南高校合唱部「花組」が選出されました。

今回は、インフルエンザの影響で2団体が出演辞退という残念なこともありました。また、当日にはスタッフも数名が欠席となり、コンテストの運営面で心配なところもありましたが、スタッフの連携が素晴らしく、神奈川県連の底力を感じることもできました。

来年は開催時期が1月20日に早まり、場所も杜のホールはしもと(相模原市)に変更になります。

是非、参加をご検討いただくとともに、会場にいらしていただきたく、お願いいたします。

最後に、今回の開催に当たり、ご協力いただきました関係各位に御礼申し上げます。ありがとうございました。

ヴォーカルアンサンブルコンテスト実行委員長 田中 勝

第20回 かながわヴォーカルアンサンブルコンテスト 審査結果一覧

部門	団体名	賞
混声合唱部門	TAMA STAR SINGERS	金
	県立湘南高校合唱部「柳組」	金
	オールト混声合唱団	銀
	立正大学グリークラブ	銀
	Foresta di TOKIWA (横浜国立大学混声合唱団)	銀
	室内混声合唱団 EMC	銅
	∞ (山手学院合唱部)	銅
女声合唱部門	クレッシェン堂 (横浜国立大学混声合唱団)	銅
	菊華アンサンブル	金
	アンサンブル藤沢	金
	女声アンサンブル The Mermaids	金
	県立横浜清陵高等学校合唱部	金
	クール・シャルマン	銀
	Trinity	銀
	神奈川県立麻生総合高等学校合唱部	銅
ジュニア合唱部門	アンサンブル・ピノ	銅
	清泉女学院高等学校音楽部	金
	県立湘南高校合唱部「花組」	金
	フランボワーズ (海老名市立海西中学校合唱部)	銅
	厚木市立南毛利中学校 合唱部	銅
	横浜市立瀬谷中学校合唱部	銅
	桐蔭学園小学部 合唱団	銅
男声合唱部門	アンコール馬場	銀

出場43団体のうち、9団体が総合審査に進出、下記の団体が総合受賞しました。

【総合審査結果】

総合1位 清泉女学院高等学校音楽部

総合2位 菊華アンサンブル

総合3位 アンサンブル藤沢

【審査員特別賞】

県立湘南高校合唱部「花組」



審査員の先生方

川上 勝功 先生 星野 聡 先生 鈴木 成夫 先生

アンサンブルコンテスト インタビュー



◆ Con Suonare

(初出場)

以前高校生の時に出場したことがあり、思うように出来なくて悔しかったので、新しい団での出場を決めました。今日はのびのび歌えて楽しいステージでした。

◆アンコール馬場

(初出場)

全員早稲田の大学生です。高田馬場から取った団名です。ステージは歌いやすかったです。やれるだけのことはやりきったと思います。

プログラム掲載の団紹介のコメント～

学生会館で倒れるまで練習し、高田馬場のロータリーで倒れるまで飲む、若手音楽集団。



◆海老名市立海西中学校

Q：いつもにこやかに挨拶をしてくれる生徒さん達ですね。

2つのグループに分けての出場で練習はどのようにされているのでしょうか？

A：今回は、2年生を半分、1年生を半分、なるべくどちらのグループも力が均等になるように分けました。練習は、一緒に基礎練習をした後は、グループごとに練習しました。仕上げる段階では、お互い聴き合ってアドバイスするなどの活動もしました。

Q：グループどうして刺激し合ったりいい面もあると思いますが、結果の受け止め方など配慮されていることはありますか？

A：どちらのグループも同じ条件で練習できるように気を配りました。結果よりも「よい演奏ができるように」ということを目標にしていました。が、インフルエンザの流行による活動休止や試験休みなど、練習ができない期間が多かったことが一番苦しかったです。そんな中で、どちらのグループもよく頑張りました。結果は僅差でした。苦しい条件の中、どちらのグループも頑張った結果だと思います。



表彰式



実行委員のみなさん

かながわユース・コーラルフェスト2017

2017年12月23日（土）、清泉女学院中学高等学校講堂にて、ユース・コーラルフェスト2017「脈動する言葉、脈動する音～信長貴富の世界～」が開催されました。数々の心揺さぶる名曲をうみだされる「作曲家 信長貴富先生」を講師としてお招きし、信長作品を体感しながらその真髄に触れていくという一日でした。リズム感溢れる澁刺とした演奏、甘美で切ないメロディー、壮大な音の波が押し寄せる音楽と、15団体の中高校生の熱演に対して温かな信長先生の励ましのお言葉と楽曲への理解を促すアドバイスが続きます。

最後の一時間は「夜明けから日暮れまで」の570名の全体合唱。東日本大震災の1年後、奇跡的に再開された第5回声楽アンサンブルコンテスト全国大会の全体合唱のために信長先生が作曲された感動的な名曲で、作詞は震災の想いをTwitter等で発信する詩人・和合亮一氏です。信長先生は重くなりがちなテンポを軽やかに引っ張りながら、「休符を入れずに湧き上がる気持ちを持続してみよう」「今に気持ちを…それは今を生きているからだよ」「道を行けの前の八分休

符で違う人格になってください。新しく生きていく決意がそこにあるよ。」と、言葉を表す音像を明確に伝えていかれます。生きたかった人の思い、「私は日付変更線の先の明日です」という叶わない思いを感じ、生きている私たちが、その想いや

志をつなげていくことが大切なのだと、信長先生の指揮のもと、皆で共感できたひと時でした。

作曲家の先生方の原風景と、その音楽の特色を学ぼうと企画したこのシリーズも4回を迎えました。来年はアンサンブルコンテストが1月開催になる関係で、ユース・コーラルフェストはお休みとなります。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

ユース・コーラルフェスト実行委員長 佐藤 美紀子



会場みなさん



懇親会にて

リレーエッセイ No.20 指揮者の『ここだけの話』



指揮者だからこそ味わえる・・・味わってしまうおもしろエピソードを
リレー形式で書いていただく人気のコーナー。今回は 吉田 千鶴子 先生です。

空に一反もめん・・・？

歌って踊れる男声合唱団とのお付き合いも20年が過ぎました。「題名のない音楽会」への出演を始め、物珍しさから多くのメディアに取り上げて頂いています。その中には「野外ステージ」が結構あり、思いがけないことが起こります。

Episode 1.

企業グループの大きなお祭りでした。私達の出演の前は「バナナのたたき売り」。

こんな事には動きません！だって参加してたくさんバナナをゲットしてきた団員さんもいましたから。そして本番。指揮をしている私の目の前がうっすら煙ってくる…このニオイは？隣で焼き鳥を焼いていました。

Episode 2.

夏祭りの会場、暑さと蚊の攻撃は覚悟していました。でも周りは大きな森に囲まれていて、夕方なら大丈夫そうとリハーサルを済ませました。そして本番。指揮を構えてシーンとした瞬間、聴こえてきたのは耳をつんざくセミの大合唱。セミの声が、こんな大音量とは全く気が付きませんでした。セミも負けじと一斉に歌い出したんでしょうね。

Episode 3.

「帆船日本丸・春分フェス～東アジア開花宣言」日本丸の前でのコンサートでした。お日様も出ているし3月なのでそんなに寒くなさそうです。そして本番。夕方になり日が陰り、容赦なく吹き付ける海風は体温を

奪っていき、MCをする口が上手く動きません。譜面台がひっくり返るんじゃないかドキドキし、髪の毛が視界をふさぎ、指揮する手までかじかんできました。お客様は沢山の拍手をくださり、寒さの中での一体感が生まれていました。私達の曲はオリジナルアレンジなので、何枚ものページを一枚につなげて2メートルくらいのものを折って使っています。もちろん風に飛ばされないように止めていましたが、海風は見事に楽譜を吹き飛ばし、空に舞い上げました。美しいくらい奇麗にたなびき、それを捕まえようと追ってくださるお客様。オジサマは「僕たちは大丈夫だよ！ちゃんと歌っているから！」の表情でこのアクシデントを楽しみ、私は「あ…一反もめんだ」と思いました。

これからもホール演奏では体験できないこと、ちょっと楽しみにしています。

次回は、ジュニアからシニアまで幅広く大活躍の、古橋富士雄先生にバトンを渡します。



次回は古橋 富士雄先生にお願いしました。

kanon 2018.4

第7回 関東ヴォーカルアンサンブルコンテスト 審査結果

◆2018年3月10日(土)・11日(日)東京エレクトロン荏崎文化ホール

部門	賞	団体名
高等学校部門	銀賞	県立湘南高校合唱部A
		県立湘南高校合唱部B
	銅賞	県立多摩高等学校合唱部A
		県立多摩高等学校合唱部B
		中央大学附属横浜中学校・ 高等学校 合唱部
小学校・中学校部門	銅賞	相模原市立共和中学校
一般部門	銀賞	ユース松林



第11回 声楽アンサンブルコンテスト 全国大会2018 審査結果

◆2018年3月22日(木)～3月25日(日) 福島市音楽堂

部門	賞	団体名
高等学校部門	金賞	清泉女学院高等学校音楽部
一般部門	優良賞	湘南コーロ・ステラ

本選審査結果 清泉女学院高等学校音楽部 第8位入賞

コール・システム・プラザ 第20回定期演奏会

ブーランク作曲 SALVE REGINA ほか
志朗'sアレンジ ポップスアレンジメドレー ほか
千原英喜作曲 混声合唱のためのおらしょ II
武満徹作曲 混声合唱のためのうた より 翼／島へ ほか
信長貴富作曲 雲は雲のままに流れ／海／それじゃ

2018/5/5(土祝)

13:30開場 14:00開演

横浜市鶴見区民文化センター サルビアホール

全席自由 1000円

お問合せ: 月野090-4592-0369

Chorus Crew 6th Concert 2018.6.17 sun 開場13:15 開演14:00

鎌倉芸術館大ホール

合唱 Chorus Crew

指揮 斉藤 悦子

ピアノ 金子 雅代

全席自由 ¥1,500 (前売り ¥1,000)

[お問合せ] 野田 080-5440-0430

[ホームページ] <http://choruscrew.chu.jp>

Ⅰ 女声合唱とピアノのための組曲「花の風」全7曲

作詩: 星野富弘 作曲: なかにしあかね

Ⅱ 女声合唱とピアノのための「あなたへのうた」全4曲

作詞: 栗原 寛 作曲: 大藤 史 編曲: 高橋直誠

Ⅲ 女声合唱のためのマザーグース・メロディ

「こまどりをころしたのだれ?」全8曲

訳詩: 浅井資子 編曲: 木下牧子

Ⅳ この歌知っていますか?

緑フラウエンコール 第11回演奏会

指揮 松村 努

ピアノ 安藤江浪

オルガン 浅尾直子

2018年8月5日(日) 14:00 開演

横浜みなとみらいホール 大ホール

全席自由 2000円

寺嶋陸也 作曲 「二月から十一月への愛のうた」より

Francis Poulenc 作曲 《Litanies à la Vierge Noire

Notre-Dame de Roc-Amadour》(黒い聖母像への連祷)

南の島のうた 《芭蕉布》 《谷茶前節》他

自由への出発 《African Celebration》 《民衆の歌》他

お問い合わせ Email: midori.frauen@gmail.com, Web: <http://midori-frauen.com>, Tel: 045-875-6639 (和田)

kanon 2018.4

カノンコンサートガイド

4/14 (土)	ハニカムズ 混声合唱団 ハニカムズ 8thコンサート 14:00～ 横浜市南公会堂 入場料:無料(整理券必要) お問合せ:山本 治子 045-881-9825 空をテーマにしたヒット曲やなつかしい童謡を人気の若手作曲家のアレンジでお楽しみください
5/3 (木・祝)	神奈川男声合唱協会 第15回演奏会 13:00～ 横浜みなとみらいホール 大ホール 入場料:1,000円 お問合せ:稲村 徹 045-771-5649(携帯090-7636-7713) 神奈川県下の男声合唱団12団体による県下唯一の男声合唱フェスティバルです 魅惑のハーモニーをお楽しみ下さい
5/6 (日)	神奈川学園中学・高等学校女声合唱団 第25回定期演奏会 15:00～ よこすか芸術劇場 入場料:無料(整理券あり) お問合せ:川合 045-311-2961 m-kawai@kanagawa-kgs.ac.jp 指揮:川合 美奈子 サラソラ作品、邦人作曲家(鈴木 輝昭、信長 貴富、松下 耕)作品、ミュージカル「リトルマーメイド」
6/3 (日)	金沢少年少女合唱団・アンサンブルミルフィーユ・晴嵐男声合唱団・Trinity 他4団体 Joint Festival 77 14:00～ みなみん～横浜市南公会堂～ 入場料:1,000円(自由席) お問合せ:遠藤 智恵子 090-2722-3538 jointfestival77@outlook.jp 指揮:平井 保 平井先生の喜寿を記念し委嘱したジェンジェシのミサ曲初演がメインのジョイントコンサートです
6/17 (日)	Chorus Crew 6th Concert 14:00～ 鎌倉芸術館 大ホール 入場料:1,500円(前売り1,000円) お問合せ:野田 080-5440-0430 泉田 090-2084-9313 指揮:斉藤 悦子 ピアノ:金子 雅代 「花の風」「あなたへのうた」マザーグース・メロディー「こまどりをころしたのだれ?」
6/29 (金)	しほみコール 第21回定期演奏会 18:00～ 二宮ラディアンホール 入場料:1,000円 お問合せ:森 0463-72-3457 指揮:桑原 妙子 ピアノ:元永 けいこ ソプラノ:橋田 有美 メンデルスゾーン「Laudate Pueri」 他
7/1 (日)	相模台グリーンエコー 第31回定期演奏会 14:00～ 杜のホールはしもと 入場料:700円 お問合せ:森田 080-5690-7299 指揮:大沢 利郎、山本 龍紀 上田 真樹「まほろば」 信長 貴富「雲は雲のままに流れ」より 他
7/14 (土)	相模ひばり少年少女合唱団 第2回定期演奏会 ～ひばり音楽会Vol.2～ 15:00～ サン・エールさがみはらホール 入場料:無料 お問合せ:土屋 090-4743-1917 sagamihibari.s2016@gmail.com 指揮:土屋 結乃 ピアノ:田口 佐緒理 「あめつちのうた」他 ぜひ可愛いひばりたちの歌声を聴きにいらして下さい
7/16 (月・祝)	あすなろ混声合唱団 第10回定期演奏会 14:00～ 鎌倉芸術館 大ホール 入場料:1,000円 お問合せ:渡辺 090-4029-1620 モーツァルトのレクイエム全曲(オーケストラ伴奏)、千原 英喜「心が愛にふるえるとき」 他
7/16 (月・祝)	相模原市民混声合唱団 第25回定期演奏会 14:00～ 相模女子大学グリーンホール 大ホール 入場料:1,000円(全席自由) お問合せ:間宮 090-9834-9200 客演指揮:岩本 達明 ピアノ:森田 花央里/武藤 聡里ほか 信長 貴富「奏楽」(ピッコロ・ピアノ版委嘱初演) 他
7/21 (土)	横浜女声アンサンブル ちょっとおしゃれなコンサートV 19:00～ 横浜みなとみらいホール 小ホール 入場料:無料 お問合せ:高橋園子 045-913-4907 指導:平松 英子 ピアノ:佐藤 征子 フォーレ「レクイエム」上田 真樹編曲「日本抒情歌～さくらさくら」ドイツ歌曲「歌の翼」 他
8/5 (日)	緑フラウエンコール 第11回演奏会 14:00～ 横浜みなとみらいホール 大ホール 入場料:2,000円(全席自由) お問合せ:和田 045-875-6639 http://midori-frauen.com 指揮:松村 努 パイプオルガンの伴奏での宗教曲はじめ、さまざまなジャンルの合唱曲の数々を演奏いたします

県連からのお知らせ <被災地の合唱活動復興のための義援金について>

神奈川県合唱連盟では、2016年の熊本地震により被害にあわれた皆様を支援するとともに、特に被災地の合唱活動復興のための義援金の募集をいたします。お寄せいただきました義援金は、全日本合唱連盟の「被災地の合唱活動復興のための義援金」に寄託します。皆様のあたたかいご協力をお願い申し上げます。

おかあさんコーラス神奈川県大会、第27回コーラスワークショップ in 横浜での募金箱へのご寄付 31,100 円

【郵便振込】 口座記号・番号：00200-8-100874 加入者名：神奈川県合唱連盟

※領収書の発行はできません。また義援金への募金は税法上の寄付控除の対象とはなりませんのでご注意ください。

☆コンサートガイド掲載要綱☆

◆ 無料掲載：「コンサートガイド」県連加盟団体のコンサートのお知らせです。

県連ホームページより申込み用紙をダウンロードしてご利用ください。

①合唱団名 ②演奏会名称 ③開催日時 ④会場 ⑤入場料等 ⑥問合せ連絡先 ⑦コメント(50字以内)の項目を記入の上、メール、Faxまたは郵送にて編集部までお申し込み下さい。無料掲載は演奏会1件につき1回のみとなります。

◆ 有料掲載：1/8〇 ¥2,500、1/4〇 ¥5,000、1/2〇 ¥10,000、1〇 ¥20,000 (未加盟団体は倍額となります。)

ご希望のサイズで版下原稿を作成してお送り下さい。お送りいただいたデータをそのまま掲載いたします。内容は基本的に自由ですが、事務局が掲載にふさわしくないと判断したものにつきましてはお断りすることがあります。有料掲載と無料掲載の両方をご希望の場合はそれぞれにお申し込み下さい。

カノン発行日	春号 4月10日	夏号 7月10日	秋号 10月10日	冬号 1月10日
原稿〆切	2月28日	5月31日	8月31日	11月30日

神奈川県合唱連盟の今後のイベント予定(2018年4月～2019年1月)

- 第41回全日本おかあさんコーラス神奈川県大会 2018年 4月21日(土) やまと芸術文化ホール
- 2018年度定時総会 5月19日(土) かながわ県民センターホール
- 第61回神奈川県合唱祭(4日間) 6月 9日(土)・10日(日) 相模女子大学グリーンホール
6月23日(土)・24日(日) 鎌倉芸術館 大ホール
- 第61回神奈川県合唱コンクール 8月18日(土)・19日(日) 相模女子大学グリーンホール
(第73回関東合唱コンクール神奈川県大会)
- 第24回ヴィサン《人生百歳》ジョイント・コーラスフェスティバル 11月 8日(木) 横浜みなとみらいホール(大)
- 第53回メサイア演奏会(主催：県立音楽堂、協力：神奈川県合唱連盟) 12月 8日(土) 相模女子大学グリーンホール
- 第21回かながわヴォーカルアンサンブルコンテスト 2019年 1月20日(日) 杜のホールはしもと

編集後記：今年度は県立音楽堂が改修工事のため使えなくなってしまうますが、県内のいろいろなホールで演奏ができるチャンスでもあります。ぜひチャレンジしてみてください。還暦を迎えてますます元気な合唱連盟の活動が出来ますように！
(編集長 青山 道代)

神奈川県合唱連盟 情報誌「Kanon(カノン)」

編集・発行 神奈川県合唱連盟・カノン編集委員会

発行責任者 志澤 彰 編集責任者：青山 道代

神奈川県合唱連盟・事務局

〒231-0021

横浜市中区日本大通 15 横浜朝日会館 4 階

TEL：045-681-6033 FAX：045-662-5119

スタッフ常駐：平日：月火木金（休祝日を除く）12:00～16:00

URL <http://kanagawakenren.la.coocan.jp/>

e-mail アドレス kanagawakenren@nifty.com

